

平成 19 年 5 月 23 日 まちづくり調整・都市整備委員会資料 都 市 整 備 局
--

新市庁舎整備構想検討について

新市庁舎の整備について、平成 7 年の「横浜市市庁舎整備審議会」の答申を踏まえ、広く民間の方々のご意見をお聞きしながら、候補地や整備方法などの整備構想を総合的に検討します。

このため、4 月 16 日から 6 月 29 日まで、「新市庁舎像に関するアンケート」と「候補地や整備方法などの提案募集」を実施しています。また、整備構想や提案内容に関して、専門的立場から助言をいただくため、外部有識者 6 人による「新市庁舎整備構想検討会」を設置し、第 1 回を 5 月 28 日に開催します。

1 背景

現在の市庁舎は開港 100 周年を記念して、昭和 34 年に竣工しました。建設後、約 50 年が経過し、施設・設備の老朽化が進むとともに、建設当時と比べ、人口が増加し行政需要などが多様化した関係で、多くの民間ビルを賃借して対応しており、庁舎の分散化を招いています。このため、行政サービスの低下や業務の非効率化などの課題が生じています。

平成 7 年 1 月には、横浜市市庁舎整備審議会から「港町（現市庁舎）地区」「みなとみらい 21 高島地区」「北仲通地区」の 3 か所が建設候補地としてふさわしいとする答申を受けました。その後、市の財政状況等により、具体化には至りませんでした。今回、開港 150 周年を迎えるに当たり、改めて、市民の皆様が愛着を持てる市庁舎像や新たな整備方法などについて検討することとしました。

2 現在の取組状況

(1) 新市庁舎像に関するアンケート

ア 項目

①新市庁舎のイメージ、②新市庁舎にあると良い施設、③整備する場合に重視すべきこと等

イ 回収状況（5 月 15 日現在）

894 通

(2) 候補地や整備方法などの提案募集

ア 提案いただく内容

(ア) 新市庁舎整備に当たっての候補地や整備方法

(イ) 移転する場合の現市庁舎の跡利用、関内地区等の都心部活性化方策

イ 提案件数（5 月 18 日現在）

0 件

3 新市庁舎整備構想検討会

(1) 委員名

(敬称略)

職 名	氏 名	備考
財団法人 日本不動産研究所 常勤顧問	河野 擴	不動産
日本大学 理工学部 教授	岸井 隆幸	街づくり
東京理科大学大学院 総合科学技術経営研究科 准教授	佐々木 圭吾	都市経営
横浜市立大学 国際総合科学部 ヨコハマ起業戦略コース 准教授	鈴木 伸治	街づくり
東洋大学大学院 経済学研究科 公民連携専攻 教授	根本 祐二	資金運用
ナレッジトラスト代表	三浦 由理	都市経営

(2) 検討項目

新市庁舎像、候補地、整備方法（事業手法・施設規模・概算事業費等）、整備スケジュール、移転する場合の跡利用方策、関内地区等の都心部活性化方策など

(3) 検討回数

4 回程度開催予定

4 今後のスケジュール

6月29日：アンケートと提案募集の締切

7月下旬：第2回検討会を予定

以降、夏ごろを目途に提案内容を取りまとめ、それを参考に市の整備構想素案を取りまとめます。